

J H F 理事会議事録

日 時： 2010年1月19日(水) 13:30~17:00

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 大沢 豊 議事録署名人： 内田孝也 菊池守男

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 市川 孝 内田孝也 大沢 豊 菊池守男
工藤修二 安田英二郎
【監事】 對馬和也
欠席（理事） 荒井健雄 城 涼一 山口淳一
（出席理事6名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事・監事のひとこと

菊池副会長：ここ1年は理事会とは別に各エリアに行っています。エリアによって事故が起きている条件がある様です。安全性委員会で各エリアのウィークポイントで過去の事故例を元に、こんな条件の時にこの様なことで怪我をした等の実績集めをやりたいと思います。

工藤理事： 渡良瀬遊水地でスカイダイビングを見たり、丹那エリアへ行ったりしました。それぞれの場所でキーマンと話しをしてきてあります。

對馬監事： 以前に発言したことですが、公益社団法人だけが税金が掛からないというのは間違いです。一般社団法人のままでも税法では非営利型法人になれるので税務上の扱いは同じです。デメリットは一般社団法人だと源泉税が取られます。それ以外は利益課税が一切ありません。

市川理事： 14日に所轄官庁である文部科学省による3年に1度の立ち入り検査があり、事務局と協力をして対応しました。報告事項で説明します。

内田会長： 11月理事会以降は、12月2日にJAAでPGアジア選手権の打合せをして来ました。その中でドーピング実施についても話し合いましたが、今回は見送ります。その後、東京海上日動火災と面談があり、フライヤー保険について料率据え置きの打合せをしました。12月5、6日は朝霧高原でPGアキュラシー日本選手権へ行きました。JAAからは蜂須賀部長がお越しく下さいました。12月は他に委員会連絡会にて最近の保険の状況を説明しました。東京都連としては、19日にJAAの航空スポーツ教室がありました。2013年に東京国体があるのですが、イベントは大田区で決定し東京都庁への申請を正式に出しました。1月9日にハングシリーズの西富士ジャパクラシックへ行って来ました。

4. 審議事項

第2回パラグライダーアジア選手権に向けて

第4-1号議案 限定外国人フライヤー登録の臨時設定について

第2回パラグライディングアジア選手権に参加する海外からの選手に対して、現地レジストレーションにおいて、参加の条件として義務付けられている第三者賠償責任保険加入を希望する者に対し、事前に既に3,500円と公開していることもあり、対価3,500円にて大会期間中のみ保険付加の限定受付をすることを決議しました。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 市川、内田、菊池、工藤、安田

第4-2号議案（独）日本スポーツ振興センター「スポーツ振興基金助成」申請について

表題の助成金申請において、申請者が法人格を持つことが今年度からの条件となり、現地の大会委員会では申請が出来ない為、JHFが申請提出することを決議しました。決算書の作成、領収証ベースでの決算等、全ての責任は実行委員会で解決することとして進めます。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 市川、内田、菊池、工藤、安田

第4-3号議案 積立金150万円の大会委員会宛の支出について

2008年度JHF決算にて、PGアジア選手権積立金150万円を積み立てましたが、これを取り崩して現地の委員会へ大会開催前に全額支給をすることで審議しました。

市川理事：今の時期に150万円というのは具体的に予定があるのでしょうか。

内田会長：準備期間として助成金の申請もする時期ですし、現地の行政のイベントで、周りで筏下りや自転車競技とかもあり、自治体から200万、政府補助金から200万を貰い、3月までに準備を始めることが動き出しています。それに歩調を合わせて委員会で使える準備金を出したいと思います。

對馬監事：通帳とカードは誰が管理するのですか。

内田会長：助成申請用の口座もきちんと管理をしないといけないので、現地の実行委員会の会計、監事が管理します。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 市川、内田、菊池、工藤、安田

5. 協議事項

5-1 2009年度決算予測について

前回理事会で今年度上半期の予実管理実績から、JHFの財務の見通しが述べられたが、それを前年同期の予実表と年間決算との相関関係に照らして、今年度決算の論理的予測としてまとめた計算書が会長より提出された。

内田会長：予算案の特徴は、ほとんど全ての収入を2008年度決算の1割引で見えていました。10月迄の実績を見ると概ね2008年より収入としては多い状況です。フライヤー会費がまず多い。技能証は下がっているのでも新しく始める人が少ないと見るべきだと思っています。それから、会費改定の影響で1年から3年にシフトしているのではないかと感じられます。支出については大きく変わるのは保険料です。今回の収入予測5,248万に対して支出予測が4,304万で850万位の黒字が予測されます。

市川理事：お役所の見方だと 5,000 万規模の所が 2 割も溜め込んでいるという見方をされます。3 年会費は入って来る前受けでもありますが。

對馬監事：前受け金だけ残し、損益計算をやり、前受け金と特定預金を同額設定すればバランスがよくなります。期末決算で去年までの分と当年度に前受け金が増減した分とを分けた方がいいのかなと思っています。あと、議論があるのは管理費の部分を事業費に持っていく。事業費の中で管理費を別に入れるか。

市川理事：事業費の中に人件費を立ててしまえばよいのでは。

内田会長：決算の仕方は今期考えたいと思います。実際の事業に使っているお金で 2,850 万となっている内の 1,700 万位は保険料です。緊縮と言って色々なことをストップして来ましたが、2010 年からはきちんと事業にお金を出していかないといけないと思います。

市川理事：事業についてなのですが、立ち入り検査の時、文科省の担当の方から、公益認定に際しては「スポーツ団体というのは愛好家の団体であるので、本当は公益社団法人というのはあまねく国民全部、ハングやパラをやらない人にとってもプラスになる団体にならないと認可が下りないかも知れない、もっと多くの人、あまねく国民に対してこういう事業をやっていますという事業項目を定款に増やした方がいい」と言われました。

5-2 委員会委員募集と委員長会議の開催について

委員の任期が 3 月末で切れる為、募集をかけると同時に、現在の委員長に集まってもらい来期の予算も含めた事業について審議をしてもらいます。

日時： 3 月 10 日 13 時

5-3 FAI 賞（一般部門）の推薦について

5-4 航空関係者表彰の候補者推薦について

今年度も候補者推薦はいませんでした。

5-5 自記高度記録計の認定登録制度（JAA）の廃止について

内田会長：JAA から、認定登録制度は NAC で管理承認となっていました。今は FAI で認定しているものを使うことになっているので、この認定登録制度を 3 月 31 日で廃止するという連絡です。

3 月 3 日の航空スポーツ連絡会にて最終決定、報告されます。

第 4-4 号議案 フォトコンテスト計画について

安田常任理事：普及活動について打合せをしました。その一環として、ハング、パラの露出を増やすということで、写真を集め自由に使える様な制度を作り広めるというのがメインです。外部向けも含めフォトコンテストをやりたいと思います。打合せを行い検討しました。PG アジア選手権を第 1 回目とすると 5 月ですから、写真雑誌等でも募集をしたいので早めに決めたいと思います。他に、ペーパークラフト、アドガム（広告付き 10 円ガム）、ステッカー、イラスト等の案も出ました。

菊池副会長：オーストラリアでもアメリカでも、会員になるとステッカーを貰って皆貼っています。前にロゴを募集した時にもかなり集まったので、公募して賞金も出せばよいのでは。

内田会長：今年度の決算に向けて、予算化して予備費から充当するという決議をしたらどうですか。

工藤理事：フォトコンテストの予算と、ステッカーはすぐ出来る状態になっているので、安い値段で作れる位を予算化して欲しいと思います。

市川理事：ステッカーは何枚作ってどう配布するかも決まらない内なので予算が取れないでしょう。

内田会長：上限を決めて具体案を詰めてもらい、出来上がった具体案を再度審議してその内容で決めましょう。

安田常任理事：1回限りのフォトコンテストではもったいないですから、年2回やるとか、繰り返せる様な制度を最初から作ればやりやすいです。

菊池副会長：広報活動は大切なのでやった方がいいですから、委員会活動費と同じで30～40万とおきましょう。

議長（大沢常任理事）：予備費から今年度30万円の予算としてフォトコンテストを計画するという案です。条件としては、具体案が出来次第、まずメールで流して、最終的に3月理事会で決議します。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 市川、内田、菊池、工藤、安田

内田会長：パンフレットを作るのも事務局の必要経費の中ですから、ステッカーはそれに絡んでフォトコンテストの告知の為に使ってもいいです事務局マターにします。

6. 報告事項

下記、それぞれ別紙のとおり報告された。

- 6-1 CIVL 総会次第
- 6-2 文部科学省の実地検査について
- 6-3 予算収支：進捗管理表
- 6-4 現金・預金・郵便振替残高明細
- 6-5 フライヤー会員登録・技能証発行実績
- 6-6 その他

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(大沢 豊)

署名人

(内田孝也)

署名人

(菊池守男)

議事録作成人：桜井加代子